

この本を読んだ当時、私は本物の人間とは言えない要素が多々あったと思うが、少しずつ変わってきたと思う。しかし、本物の人間には程遠く、もっと日頃から意識しなければいけないと改めて思った。諦めること、元に戻ることは簡単なことだが、変わることは本当に難しい。私は掃除を習慣化させることにもかなりの時間を要した。変わりたいと思うこと自体は簡単だが、相当な覚悟がなければそれを行動に移し続けることはできないし、変わることはできない。自分は不完全であり、より以上を目指すために変わるのだという強い思いを常に持ち続けることが、今の私にはまだ足りていないと思うので、もっと意識していこうと思う。

こういった人間の本質的な部分を見つめ直したり、学んだりできる本に出会うのがもっと早かったら良かったと思った。もし、もっと早くから出会っていたら、人間としてどれだけ成長できていたのだろうか。私の周りにもっと多くの人を幸せにできたのではないだろうか。今後、私が一番影響を与えるのは自分の子供だと思うので、子供のためにも、本物の人間とは何かを示すことのできる人間になり、そしてたくさんの方の役に立てる人間になれるよう、成長し続けようと思う。